

JEMS
増え続けるマニフェストに、
効率化の新しいかたち
スマートマニフェスト
0120-857-493

週刊 循環経済新聞
JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

3月3日 No.1718
2025年(令和7年)
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
平成元年9月22日 第3種郵便物承認
購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

CHALLENGE 70
発行所 日報ビジネス 株式会社
Vision Vitality Victory
(東京) 〒101-8001 東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話03-(3262)3488 FAX03-(5214)5633
(大阪) 〒541-0854 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06-(6262)2406 FAX06-(6262)2099
発売元 株式会社クリエイティブ日報 出版部

北九州市内に拠点を開設 関東から九州まで事業を拡大

産業廃棄物の収集運搬や中間処理、土木建設工事などで実績を重ねる関西クリアセントラ（堺市、伊山権一社長、072・280・1100）は、北九州事業所「ふたじま九州」（北九州市、伊山雄太社長）を立ち上げた。廃棄物の安定化に重点を置き、繰り返し品質を高めることで、高い品質に達した廃棄物のみを出荷する施設となっているのが特長だ。

取得した許可は、産業廃棄物と特別処理産業廃棄物の中間処理業（安定化処理）の二つ。産業廃棄物の受け入れ品目は、▽燃え殻▽汚泥▽鉱さい▽がれき類▽アスト類▽ガラスくず▽コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）以上6種類（水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く）、（特別処理産業廃棄物であるものを除く）となっている。処理能力は▽燃え殻186ト/24時間▽汚泥169立方メートル▽鉱さい（アスト）186ト/同▽がれき類186ト/同▽アスト類186ト/同▽ガラスくず186ト/同▽コンクリートくず及び陶磁器くず186ト/同。

産業廃棄物の収集運搬や中間処理、土木建設工事などで実績を重ねる関西クリアセントラ（堺市、伊山権一社長、072・280・1100）は、北九州事業所「ふたじま九州」（北九州市、伊山雄太社長）を立ち上げた。廃棄物の安定化に重点を置き、繰り返し品質を高めることで、高い品質に達した廃棄物のみを出荷する施設となっているのが特長だ。

取得した許可は、産業廃棄物と特別処理産業廃棄物の中間処理業（安定化処理）の二つ。産業廃棄物の受け入れ品目は、▽燃え殻▽汚泥▽鉱さい▽がれき類▽アスト類▽ガラスくず▽コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）以上6種類（水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く）、（特別処理産業廃棄物であるものを除く）となっている。処理能力は▽燃え殻186ト/24時間▽汚泥169立方メートル▽鉱さい（アスト）186ト/同▽がれき類186ト/同▽アスト類186ト/同▽ガラスくず186ト/同▽コンクリートくず及び陶磁器くず186ト/同。



開設した北九州事業所「ふたじま九州」には、ICP発光分析装置、原子吸光分光光度計、蛍光X線分析装置など、幅広い分析装置を取りそろえ、品質管理を構築し、成長していきたいとの思いを語った。

東武商事 使用済空容器から資源を回収 アップサイクルの試作品を展示

廃棄物の処理・リサイクル事業を展開する東武商事（埼玉県松伏市、松伏スマート・町、小林雄雄社長）は、リサイクル・システム048・992・10「ス（MRS）」で受け入れられた使用済空容器（プラスチック等）を回収し、協力会社でペレット・製品化する取り組みを行っている。

回収された使用済空容器は、洗浄・破砕・洗浄されたプラスチック等から、プラスチック等のペレットを回収し、協力会社でペレット・製品化する取り組みを行っている。

インタビュー

三凌商事は1975年9月の設立以来、約50年間にわたって廃棄物処理・リサイクル事業に取り組んできた。三凌愛川リサイクルセンター、オテプラ「三凌愛川リサイクルセンター テクノプラザ」の中核施設で汚泥や廃プラスチックなどをはじめとした資源の処理・再資源化を通じて循環型社会の構築に貢献してきた。1月には新たな拠点として低炭素・資源循環を実現するマテリアルリサイクルプラント「三凌愛川リサイクルセンター エコニクル」をオープンした。就任20年を迎えてもなお新たな挑戦を続ける赤石賢治社長（以下、敬称略）にその考えを聞いた。

設立から約50年が経過

三凌商事 代表取締役社長 赤石賢治氏に聞く



就任当時から資源化を意識。2006年に社長に就任しているが、その当時の状況は、赤石社長に就任する前の10年程は、副社長として事業の基礎となるリサイクル施設の立ち上げに携わっていた。その経験が大きな

今年新たな施設も直しを行った結果、大規模に就労環境を改善しているが、社長就任時にタイラー車の排気管を規制する条例が制定されたため、生産性の向上と社員の定着につながった。

事業展開では、汚泥処理・発泡スチロールの処理・リサイクルを行う三凌愛川リサイクルセンター、オテプラと、廃プラスチック類をはじめとした混合廃棄物の処理・リサイクルを行う三凌愛川リサイクルセンター、テクノプラザを大きな柱として育ててきた。

この拠点については、今後も顧客の細かな要望に応えていくような体制を整え、成長を実現させていく。

赤石社長は、サクリン、エコニクル、三凌愛川リサイクルセンター、テクノプラザを大きな柱として育ててきた。この拠点については、今後も顧客の細かな要望に応えていくような体制を整え、成長を実現させていく。



週刊「循環経済新聞」購読料改定(値上げ)のご案内

ご購読者 各位
拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、弊紙の購読料の改定（消費税に伴う調整改定を除く）は2000年が最後となっております。この数年の世界状況による印刷原材料の高騰、人件費高騰、運送費用等の上昇に対してあらゆるコストダウンに取り組んできておりましたが、昨年10月の郵便料金アップに伴い現状の価格では困難な状況となっております。つきましては、誠に不本意ではございますが、2025年4月1日以降の発行号から購読料を改定させていただきます。新しい料金は下記のとおりとなります。



試作品の感染性廃棄物回収容器

何でも承ります。 121品目処理可能
太洋サービコ
053-447-4640
http://taiyo-ser.com